

第2次環境基本計画改訂版 平成25年度重点プロジェクトの実績一覧(H26.3.31現在)

重点プロジェクト	取組内容	平成24年度の実績 (参考)	平成25年度の実績	自己 評価	担当室課の 見解など	担当室課	関係室課
地球温暖化対策の推進	① 低炭素まちづくりの検討及び推進 ・下水熱など未利用エネルギーの活用 ・自動車利用抑制による公共交通機関の利用促進等 ・公園等における緑地の保全及び緑化の推進	吹田市地球温暖化対策新実行計画に基づき、日常生活や事業活動におけるライフスタイル・ビジネススタイルの転換について、イベント等を通じて啓発を行うとともに、大学と研究機関による省エネルギーワーキングを実施し、意見や情報交換、学習会を行った。	大阪大学環境イノベーションデザインセンター(CEDS)との共催で、低炭素社会・省エネ社会など社会ビジョンに対する科学技術・研究シーズの貢献、学術研究と政策現場の交流の意義や今後の課題等についてシンポジウム(講演やパネル討論)を行った。 神崎新田公園(0.12ha)を開設した。千里緑地(第4)において、人生節目の記念植樹制度(緑化啓発事業)を活用した市民寄附による植栽(1本)を行った。	○	地域特性に応じた取組の1つとして、大学との連携を継続して進めている。	環境政策室	
	② 公共施設における率先実行(節エネルギー、省エネルギー、低炭素エネルギー) ・節エネルギーの率先実行 ・省エネルギー機器・再生可能エネルギーの導入拡大	施設の新築・大規模改修の際に再生可能エネルギーの導入を積極的に進めている。 (再生可能エネルギー設備：H24年度実績) 【千里丘図書館】太陽光発電システム 【千里ニュータウンプラザ】太陽光発電システム ハイブリッド型発電	【資源循環エネルギーセンター】太陽光発電150kW、ハイブリッド街路灯3基 【破碎選別工場】ハイブリッド街路灯1基 【阪急千里山駅前東自転車駐車場】太陽光発電41.28kW 【吹一公園】ソーラー照明(公園灯)100W	△	公共施設の新築、大規模改修の際には、省エネルギー機器及び再生可能エネルギーの導入促進を図るよう働きかけている。	環境政策室	環境政策室 総務室 地域経済振興室 資産経営室 都市整備室 開発審査室 総務交通室 道路室 公園みどり室 下水道経営室 学校管理室
	③ 廃棄物処理関連施設包括的管理運営事業 本市資源循環エネルギーセンター、破碎選別工場、資源リサイクルセンター及びストックヤードの管理運営に、民間の活力及び経営手法を導入することにより、より効率的で効果的な廃棄物処理事業及び環境啓発に関する事業を行うことの様々な可能性について、調査・比較・検討を行う。	「包括的廃棄物処理間施設運営モデル検討事業」を立ち上げ、資源リサイクルセンターについても、(仮称)環境パートナーシッププラザ検討委員会にて検討した内容も踏まえながら、より効率的で効果的な事業運営の様々な可能性についての調査・検討を実施した。	「廃棄物処理関連施設包括的管理運営事業 基本方針」を作成、政策決定した。基本方針において、資源循環エネルギーセンターについては、管理運営の長期包括委託を行うこと、資源リサイクルセンターについては、環境啓発事業のテーマをこみの減量・資源化から持続可能な低炭素社会・資源循環型社会の形成に広げること、また、施設の余裕スペースを大学等の研究機関に貸付けることで、大学、市民、事業者、行政との新たな連携や環境啓発事業の新たな展開につなげることをしている。大学への貸付けについては、周辺大学への意向調査を実施した。	○	基本方針を作成、政策決定を行うなど事業が一旦進捗はした。(ただし、資源循環エネルギーセンターの管理運営の長期包括委託を進めるために、次年度に必要な予算確保ができなかった。)	環境政策室	
	④ 再生可能エネルギーの導入促進		おおさかスマートエネルギー協議会(市町村部会)等に参加し情報収集を行った。また、大阪府及び大阪市が共同で取り組むおおさかスマートエネルギーセンターについて、広報やHPで紹介し、市民・事業者へ情報提供を行った。	○	行政の取組だけでなく、アジェンダ21すいたとの連携・協働により、地球温暖化に係る講演会を開催し、太陽光発電の導入促進を呼びかけるなど啓発を進めている。	環境政策室	

第2次環境基本計画改訂版 平成25年度重点プロジェクトの実績一覧(H26.3.31現在)

重点プロジェクト	取組内容	平成24年度の実績 (参考)	平成25年度の実績	自己 評価	担当室課の 見解など	担当室課	関係室課
ヒートアイランド対策の推進	① 建築物・道路・駐車場の高温抑制化（高反射性塗装、透水性・保水性・遮熱性舗装など）		小学校のグラウンド表層改良において、透水性保水型舗装を行った。	○	今後も環境に配慮した取組を進める。	資産経営室	
	② 公園緑地・街路樹の整備、緑化の推進（屋上・壁面緑化、みどりのカーテンなど）		平成25年度完了実績 屋上緑化 （1件、236.25㎡） 壁面緑化 （2件、65.81㎡）	△	民有地の緑化推進を行った。	公園みどり室	
		平成24年4月21日（土）に、「みどりのカーテン講座」を開催し、苗の植え方、育成方法を専門家から解説してもらったとともに、ゴーヤの苗を参加者に配付した。また、講座と併せてゴーヤの写真展での入賞者に対する表彰式を実施した。 （参加者約94名）	平成25年4月20日（土）に、「みどりのカーテン講座」を開催し、苗の植え方、育成方法を専門家から解説してもらったとともに、ゴーヤの苗を参加者に配付した。今年度は小学生と保護者を対象に実施した。 （参加者 21組）	○	平成25年度は、一般市民のうち、主に小学生など児童を対象に啓発を行った。次世代を担う子どもたちへの働きかけは重要であると考えられる。	環境政策室	環境政策室 資産経営室 地域経済振興室 都市整備室 開発審査室 総務交通室 公園みどり室 水循環下水道管理課 水循環下水道整備課 学校管理室
	③ 水辺空間の保全、親水空間の創出	河川管理者と協力し河川の清掃を行った。 （糸田川の清掃を年2回）	河川管理者と協力し河川の清掃を行った。 （糸田川の清掃を年2回）	△	河川の清掃について、前年度に引き続き行った。今後も引き続き行う予定である。	下水道整備課	
	④ 建築物の省エネルギー化、空調排熱の潜熱化		吹田市役所エコオフィスプラン及び吹田市環境まちづくりガイドライン（開発・建築版）に基づき、公共施設の新築、大規模改修の際には、高効率な省エネルギー型機器等の推進を図るよう働きかけている。	△	建築物の省エネルギー化については、温暖化対策にもつながるものとして、一体的に進めていく必要がある。	環境政策室	
	⑤ ドライ型ミストの設置		本庁舎正面玄関及び西玄関に設置しているドライ型ミストを夏季に稼働させて、市民・事業者への啓発を行っている。	△	今後も引き続き、啓発を行うとともに、導入に向けた研究・検討が必要である。	環境政策室	
⑥ ヒートアイランド現象のモニタリング		ヒートアイランド対策推進事業について、環境省の受託事業として、本市域内の詳細な気温分布の調査を行い、地表温度との関係を分析し、本市の対策量を取りまとめた。	ヒートアイランド対策推進事業について、環境省の受託事業として、屋上面積が大きい建築物所有者等に対してヒートアイランドに関するアンケート調査を実施し、ヒートアイランド対策の実施状況等の把握に努めた。	○	平成24年度事業を踏まえ、アンケート調査等を実施したため。	環境政策室	

第2次環境基本計画改訂版 平成25年度重点プロジェクトの実績一覧(H26.3.31現在)

重点プロジェクト	取組内容	平成24年度の実績 (参考)	平成25年度の実績	自己 評価	担当室課の 見解など	担当室課	関係室課
(環境 連携パ ートナ ーシ ップ の推 進)	① 活動や交流・連携の場を備えたプラットフォーム組織の形成・拡充の支援	市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたを推進した。 ・会員数102名・環境家計簿参加者209世帯・みどりのカーテン講座1回・打ち水関連イベント1回・すいたエコツアー4回・「すいたレジ袋削減・マイバック推進協議会」を通じて、市内スーパーでのマイバックキャンペーン参加、環境教育フェアに参加・ニュースレター及びエコプレス発行各4回・自然エネルギーに係る学習会1回・生物多様性に係る講演会1回、展示2回の開催、パンフレットの作成	市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたを推進した。 ・会員数99名・環境家計簿参加者201世帯・みどりのカーテン講座1回・打ち水関連イベント1回・すいたエコツアー2回・「すいたレジ袋削減・マイバック推進協議会」を通じて、市内スーパーでのマイバックキャンペーン参加、環境教育フェアに参加・ニュースレター及びエコプレス発行各4回・生物多様性に係る展示2回の開催・「すいたエコワーク」の開催1回	○	平成25年度は新たな取り組みとして、車社会からの脱却をめざし、「すいたエコワーク」を実施した。市民、事業者、行政の三者協働による新たな取り組みは今後につながるものである。	環境政策室	環境政策室 地域自治推進室 地域経済振興室 学校教育室指導課 生涯学習推進室 生涯学習課
	・さまざまな主体が集い、活動や交流を進める場の整備の推進 ・市民団体や企業などを中間支援するパートナーシップ組織の形成		吹田市立市民公益活動センターにおいて、市民公益活動のフェスタ、分野別団体交流会、市民協働マッチング、テーマカフェ等、環境保全に取り組む団体を含むさまざまな主体が集い、交流や連携を図るイベントを実施した。	○	吹田市立市民公益活動センターは平成24年9月に開設され、環境保全の取組を含む市民公益活動を総合的に支援する場となっている。平成25年度は、さまざまな主体の交流・連携を促進するイベント等について実施内容、回数ともに充実したものととなった。	地域自治推進室	
			環境教育フェアと環境学習発表会を同時開催することにより、学校における取組の周知を図った。	△		指導課	
	② 積極的な情報提供、相互情報の共有・活用				—		

第2次環境基本計画改訂版 平成25年度重点プロジェクトの実績一覧(H26.3.31現在)

重点プロジェクト	取組内容	平成24年度の実績 (参考)	平成25年度の実績	自己 評価	担当室課の 見解など	担当室課	関係室課
(エコスクール)の推進	① 環境教育等促進法に基づく環境教育の充実 ・教材の開発や情報の提供 ・教職員の資質向上に向けた研修等の実施 など		実績なし	×	学校教育や生涯学習教育との連携が課題。	環境政策室	環境政策室 学校教育室指導課 学校管理室
			・点検活動の実施とその他での環境に関する実践報告	・環境教育担当者会を設定し、環境に関する取組の交流等を実施した。	△		
	② 太陽光発電、太陽熱利用など再生可能エネルギーの導入			△	施設の新築・改築の際には、積極的な導入に取り組んでいる。	学校管理室	
	③ みどりのカーテン、ピオトープ、ミニ水田などの実施	・学童農園を20校、校内ミニ水田を13校で実施 ・緑のカーテン新規2校 ・ピオトープ新規校なし(佐井寺小 平成23年度からの継続、吹田第三小学校 改修)	・みどりのカーテンの新規設置及び改修を6校で実施。 ・ピオトープの改修を2校で実施。 ・学童農園を18校、校内ミニ水田を12校で実施。	△	学童農園事業について平成26年度より地域自治推進室に移管。耐震工事や農家の個別の事情により、平成24年度より実施校は減少している。	指導課	
	④ 校内物品のリサイクル、生ごみ等の減量化・堆肥化		・エコスクール活動簿(環境の取組にかかるチェックシート)を活用し、全小・中学校53校において、児童・生徒、教員のエコに対する意識の高揚を図った。	△		指導課	
	⑤ 環境学習副読本等の活用	環境教育副読本を53校に配置した。	・環境教育副読本を全小・中学校53校に配置。	△		指導課	
	⑥ 環境教育の場の充実		・各関係機関と連携した体験的な活動や、学校での取組を発表する場を設定した。	△		指導課	

第2次環境基本計画改訂版 平成25年度重点プロジェクトの実績一覧(H26.3.31現在)

重点プロジェクト	取組内容	平成24年度の実績 (参考)	平成25年度の実績	自己 評価	担当室課の 見解など	担当室課	関係室課	
地域における環境教育の推進	① 環境教育等促進法に基づく協働取組などの推進 ・市民団体や事業者、行政の協働取組の推進 ・環境保全活動を行う団体等への支援 など			—				
	② 効果的なイベント（講習会・発表会、展示など）の開催	市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたにおいて実施した。 ・みどりのカーテン講座1回・打ち水関連イベント1回・すいたエコツアー4回・「すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会」を通じて、市内スーパーでのマイバッグキャンペーン参加・環境教育フェアにおいて風呂敷講習会や生物多様性の展示・自然エネルギーに係る学習会1回・生物多様性に係る講演会1回、展示2回の開催、パンフレットの作成	市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたにおいて実施した。 ・みどりのカーテン講座1回・打ち水関連イベント1回・すいたエコツアー2回・「すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会」を通じて、市内スーパーでのマイバッグキャンペーン参加・すいた環境フェスタにおいて風呂敷講習会やマイボトルの啓発・生物多様性に係る講演会1回、展示2回の開催・「すいたエコウォーク」の開催1回 環境問題について理解と認識を深め、環境保全に関する実践的な能力・態度を育てることを目的に「すいた環境フェスタ」を開催した。	○	平成25年度は新たな取り組みとして、車社会からの脱却をめざし、「すいたエコウォーク」を実施した。市民、事業者、行政の三者協働による新たな取り組みは今後につながるものである。	環境政策室		
	③ 講演や講座などの学習機会の充実			EM廃油石鹸作り、環境家計簿、生ごみのたい肥化、緑のカーテン講座をはじめとした公民館講座の開催（主催は各地区公民館） （開催数計21回）	○	前年と比較して、講座実施回数・参加人数が減ったが、引続き実施を予定。	生涯学習課	環境政策室 地域自治推進室 地域経済振興室 学校教育室指導課 生涯学習推進室 生涯学習課
			市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたにおいて実施した。 ・みどりのカーテン講座1回・打ち水関連イベント1回・すいたエコツアー4回・「すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会」を通じて、市内スーパーでのマイバッグキャンペーン参加・環境教育フェアにおいて風呂敷講習会や生物多様性の展示・自然エネルギーに係る学習会1回・生物多様性に係る講演会1回、展示2回の開催、パンフレットの作成	市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたにおいて実施した。 ・みどりのカーテン講座1回・打ち水関連イベント1回・すいたエコツアー2回・「すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会」を通じて、市内スーパーでのマイバッグキャンペーン参加・すいた環境フェスタにおいて風呂敷講習会やマイボトルの啓発・生物多様性に係る講演会1回、展示2回の開催・「すいたエコウォーク」の開催1回	○	平成25年度は新たな取り組みとして、車社会からの脱却をめざし、「すいたエコウォーク」を実施した。市民、事業者、行政の三者協働による新たな取り組みは今後につながるものである。	環境政策室	
				地域でのごみ減量・再資源化を図るため、市民を対象とした出前講座、生ごみたい肥化講習会や廃棄物減量等推進員を対象とした、環境問題基礎講座、ブロック別研修会を実施した。	○		環境政策室	
				すいたシニア環境大学では学校や地域で環境保全活動を実践する人材「環境の語り部」を育成すいたシニア環境大学12期生修了者数（環境の語り部認定者数）20名	△	入学者の定員割れが続いており、対象や担い手など見直しの必要がある。	環境政策室	
		⑤ 学習プログラムや教材の研究・開発			—			